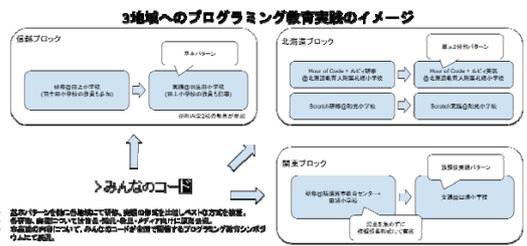
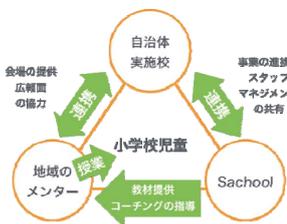


タイトル	オープンで探求的・総合的なプログラミング学習実施モデル 2017		
実証校	・北海道教育大学附属札幌小学校 ・北海道札幌市立和光小学校 ・新潟県田上町立羽生田小学校 ・新潟県田上町立田上小学校 ・神奈川県横須賀市立田浦小学校	連携団体	札幌市教育委員会、北海道教育大学、田上町教育委員会、横須賀市教育委員会
		講座受講者	小学校4～6年生/147名
モデル概要	2020年の小学校プログラミング必修化を見据えて、平成28年度の加賀市での本実証事業を基礎として、総合的な学習の時間でも実施な内容を展開。3地域5小学校にて実施の形態を各地で調整することで、ベストな実施方法を検証。 <div style="text-align: center;">  <p>3地域へのプログラミング教育実践のイメージ</p> <p>みんなのコード</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各都府県を単位として実施することで、地域の特色を生かした実践が期待できる。 ● 各都府県、自治体ごとに特色ある実践が期待できる。 ● 実践の進捗状況に応じて、みんなのコード事務局で実施するプログラミング教育シンポジウムを開催。 </div>		
メンター属性	教職員	育成メンター数	24名
実施の様子	【講座実施日】 附属札幌小学校：8/17 和光小学校：7/27,28 田上小学校：9/16 羽生田小学校：10/28 田浦小学校：8/23,24 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>		

タイトル	地域主体による自走的・持続的なプログラミング教育人材の育成推進		
実証校	・山形県米沢市立松川小学校 ・宮城県仙台市立将監小学校 ・宮城県仙台市立西中田小学校 ・聖ドミニコ学院小学校	連携団体	
		講座受講者	小学校3～6年生/70名
モデル概要	地域在住の高校生からシニアまで幅広い世代をメンターとして育成できる、地域主体の自走可能なプログラミング教育人材の育成環境の構築を推進する。 また、定量的・定性的な評価を目指したSachool考案のカリキュラムにより、より効率的・効果的なメンター育成およびプログラミング教育方法を追求する。 <div style="text-align: center;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> <div style="width: 30%;"> <p>メンター育成（アンケート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンター育成の進捗状況を確認 ・メンター育成の課題を把握 ・メンター育成の効果を評価 </div> <div style="width: 30%;"> <p>メンター育成（インタビュー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンター育成の進捗状況を確認 ・メンター育成の課題を把握 ・メンター育成の効果を評価 </div> <div style="width: 30%;"> <p>メンター育成（アンケート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンター育成の進捗状況を確認 ・メンター育成の課題を把握 ・メンター育成の効果を評価 </div> </div>		
メンター属性	大学生、保護者、地域住民、教職員	育成メンター数	22名
実施の様子	【講座実施日】 松川小：8/29,9/13,27 将監小：8/23,24 西中田小：9/2,9 聖ドミニコ学院小：7/26,8/9 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

平成28年度第2次補正事業 実証モデル概要 ▶ タイムソフト合同会社

タイトル	栄養士と学ぶプログラミング講座 バーチャル・クッキング		
実証校	・青森県五戸町立切谷内小学校 ・福島県白河市立表郷小学校	連携団体	青森県学校給食コンピュータ研究会 公益社団法人福島県栄養士会
		講座受講者	小学校1～6年生/49名
モデル概要	<p>調理とプログラミングの類似性に着目し、食育と組み合わせたプログラミング教育モデルを開発。食育の専門家である栄養士をメンターに育成して実施。</p> 		
メンター属性	栄養教諭、学校栄養職員	育成メンター数	29名
実施の様子	<p>講座実施日： 切谷内小学校：8/22,23 表郷小学校：9/16</p>  <p style="text-align: center;">切谷内小学校</p>  <p style="text-align: center;">表郷小学校</p>		

平成28年度第2次補正事業 実証モデル概要 ▶ 合同会社デジタルポケット

タイトル	全国のビスケットファシリテータを活用したプログラミング教育普及モデル																								
実証校	①北海道石狩市こども未来館 ②茨城県龍ケ崎市立龍ケ崎小学校 ③栃木県足利市「キッズピアあしかが」 ④川崎市立古川小学校 ⑤海老名市立有鹿小学校 ⑥神奈川県二宮町立二宮小学校 ⑦静岡県長泉町立長泉小学校 ⑧愛知県清須市立西枇杷島小学校 ⑨奈良女子大学附属小学校 ⑩神戸市ふたば学舎 ⑪徳島県阿南市立長生小学校	連携団体																							
		講座受講者	小学校全学年/ 245名																						
モデル概要	<p>デジタルポケットが開発した「ビスケットによるプログラミング入門」体験を通じてプログラミングや情報の本質を知る AI時代を主体的に関わる態度の醸成 を全国に普及させる ファシリテータ講習修了者（全国に約350名）の希望者が追加の講習を受け、各地域でプログラミング講座を実践する</p> 																								
メンター属性	ファシリテータ講習修了者 (教職員6名、大学生1名、保護者・地域住民・地域企業16名)	育成メンター数	23名																						
実施の様子	<p>実施スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="287 1758 909 2116"> <tr><td>徳島県阿南市立長生小学校</td><td>6/9～7/14</td></tr> <tr><td>愛知県清須市立西枇杷島小学校</td><td>7/8・15</td></tr> <tr><td>茨城県龍ケ崎市立龍ケ崎小学校</td><td>7/21～27</td></tr> <tr><td>神戸市ふたば学舎</td><td>7/23・26</td></tr> <tr><td>神奈川県海老名市立有鹿小学校</td><td>7/24～26</td></tr> <tr><td>奈良女子大学附属小学校</td><td>7/24～27</td></tr> <tr><td>静岡県長泉町立長泉小学校</td><td>8/1・2</td></tr> <tr><td>栃木県足利市キッズピアあしかが</td><td>8/4・5</td></tr> <tr><td>神奈川県二宮町立二宮小学校</td><td>8/7・8</td></tr> <tr><td>神奈川県川崎市立古川小学校</td><td>8/21・22</td></tr> <tr><td>北海道石狩市こども未来館</td><td>9/2・3</td></tr> </table> 			徳島県阿南市立長生小学校	6/9～7/14	愛知県清須市立西枇杷島小学校	7/8・15	茨城県龍ケ崎市立龍ケ崎小学校	7/21～27	神戸市ふたば学舎	7/23・26	神奈川県海老名市立有鹿小学校	7/24～26	奈良女子大学附属小学校	7/24～27	静岡県長泉町立長泉小学校	8/1・2	栃木県足利市キッズピアあしかが	8/4・5	神奈川県二宮町立二宮小学校	8/7・8	神奈川県川崎市立古川小学校	8/21・22	北海道石狩市こども未来館	9/2・3
徳島県阿南市立長生小学校	6/9～7/14																								
愛知県清須市立西枇杷島小学校	7/8・15																								
茨城県龍ケ崎市立龍ケ崎小学校	7/21～27																								
神戸市ふたば学舎	7/23・26																								
神奈川県海老名市立有鹿小学校	7/24～26																								
奈良女子大学附属小学校	7/24～27																								
静岡県長泉町立長泉小学校	8/1・2																								
栃木県足利市キッズピアあしかが	8/4・5																								
神奈川県二宮町立二宮小学校	8/7・8																								
神奈川県川崎市立古川小学校	8/21・22																								
北海道石狩市こども未来館	9/2・3																								

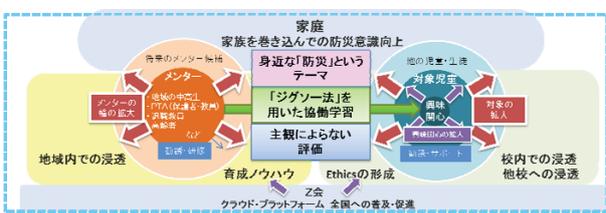
平成28年度第2次補正事業 実証モデル概要 ▶ 三重県教育委員会

タイトル	プログラミング教育の広域的な普及促進モデルの実証～指導人材育成サイクルの構築～		
実証校	<ul style="list-style-type: none"> 三重県南伊勢町立南勢小学校 三重県亀山市立神辺小学校 三重県伊勢市立厚生小学校 三重県伊賀市教育研究センター 三重県名張市教育センター 	連携団体	
		講座受講者	小学校3～6年/222名
モデル概要	<p>三重県教育委員会が主体となり育成したプログラミング指導者（メンター）が教育センターや実証校でのプログラミング講座等を実施し、指導法・指導用教材について実践的な検証を行う。その取組成果を県内小中学校に広く公開し、プログラミング教育の普及推進を図る。</p> <p>本事業の実施に当たっては、プログラミング教育推進委員会を設置し、事業の進捗管理およびメンターへのサポートを行うことを通して、指導人材育成を図る。</p> <p>以上の取組を継続的に実施しプログラミング教育の広域的な普及促進モデルについて実証する。</p>		
メンター属性	小中学校教員	育成メンター数	35名
実施の様子	<p>【講座実施日および受講人数】</p> <p>南勢小学校（28人）：12/11,12/14,18 ※12/11視察予定</p> <p>神辺小学校（65人）：09/06,10/20,27,11/05,10</p> <p>厚生小学校（19人）：06/23,08/29,10/13,11/23,24</p> <p>伊賀市教育研究センター（23人）：08/26</p> <p>名張市教育センター（87人）：11/25</p>		

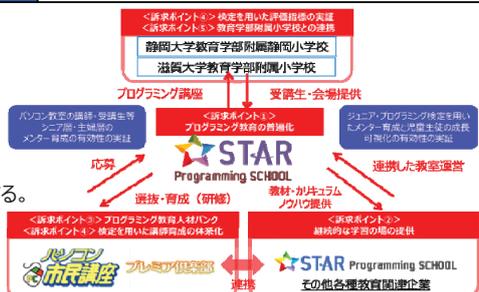
平成28年度第2次補正事業 実証モデル概要 ▶ ジャパン・トゥエンティワン株式会社

タイトル	プログラミング教育の広域的な普及促進モデルの実証～指導人材育成サイクルの構築～		
実証校	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県豊橋市立大清水小学校 愛知県豊橋市立植田小学校 	連携団体	豊橋市、豊橋市教育委員会
		講座受講者	小学校全学年/70名
モデル概要	<p>グローバルに実績の高いプログラミング学習ゲーム CodeMonkey で、市民のだれもがメンターになれること、完成度の高いカリキュラムガイドで、コンピューター・サイエンスの知識を有しない者でもアクティブラーニングによるクラス運営ができることを実証する。</p> <p>「未来に羽ばたく子ども・若者を応援する」豊橋市長・教育委員会のリーダーシップと、CodeMonkey の技術とノウハウと情熱で日本の若者の未来を拓くことを推進するジャパン・トゥエンティワンが連携し、官民学・地域人材を活用した市民総参加型で推進する。</p> <p>“IT先進都市Toyohashi!” を目指した、豊橋市民総メンターによるプログラミング教育の推進</p>		
メンター属性	保護者、地域住民、地域企業	育成メンター数	27名
実施の様子	<p>【講座実施日】</p> <p>大清水小学校：9/07,14,21,10/5,19 植田小学校：10/26,11/2, 9,16,30</p>		

平成28年度第2次補正事業 実証モデル概要 ▶ 株式会社Z会

タイトル	「プログラミング×ロボットで防災を考える～家庭、地域、学校・三位一体の21世紀型の生きたプログラミング教育の実践」		
実証校	・静岡県西伊豆町立賀茂小学校 ・静岡大学教育学部附属浜松小学校	連携団体	
		講座受講者	小学校5～6年生/43名
モデル概要	<p>レゴ社の教育用ロボット「マインドストーム」を用いて、コーディングの基礎とロボット制御についての基礎を学び、「防災」という観点から応用例を考えさせる取り組みを行う。メンターは地域の中高校生から児童・生徒の保護者、高齢者までを考えており、地域人材を幅広く活用する。メンターがメンターを育てる仕組みや、地域に応じたカスタマイズのあり方、ジグソー法を用いた児童への指導、「論理的思考力」の伸長の評価や児童のあらわれをいかに評価するかといった点が実証したいポイントであり、児童が未来を生きる上でのethics形成のために貢献できる内容にしたい。</p> 		
メンター属性	保護者、地域住民、地域企業、教職員、大学生	育成メンター数	29名
実施の様子	【講座実施日】 附属浜松小学校：07/14,19・20,29 賀茂小学校：10/3,5,6,10,12,13,17,19,24,31		
			

平成28年度第2次補正事業 実証モデル概要 ▶ 株式会社チアリー

タイトル	「永続的なプログラミング教育メンター人材バンク」の設立と、「ジュニア・プログラミング検定」を用いたメンター育成、及び子ども達の成長可視化プロジェクト		
実証校	・滋賀大学教育学部附属小学校 ・静岡大学教育学部附属静岡小学校	連携団体	
		講座受講者	小学校4～6年生/77名
モデル概要	<p>株式会社チアリーの運営する、すべての小学生・中学生のためのプログラミングスクール「STAR Programming SCHOOL」の教材・カリキュラム、教室運営ノウハウ、講師育成ノウハウ等をベースとして、滋賀県・静岡県内等の小学生に対するプログラミング教育を実施する。また、株式会社チアリーの運営する、パソコン市民講座のインストラクター及び受講生や地域人材（教員・教育実習生を含む）をメンターとし、「永続的なプログラミング教育メンター人材バンク」の設立の可能性を検証する。さらにサーティファイ情報処理能力認定委員会による「ジュニア・プログラミング検定 Scratch部門」を活用したメンター育成及び子どもたちの成長の可視化の有効性を実証する。</p> 		
メンター属性	保護者、地域住民、地域企業	育成メンター数	22名
実施の様子	【講座実施日】 滋賀大附属小学校：8/23,25,9/16,30 静岡大附属静岡小学校：9/19,20,21,22,28,29		
			

平成28年度第2次補正事業 実証モデル概要 ▶ 夢見る株式会社

タイトル	自律型ロボット教材を用いたプログラミング学習を行い、ロボコンに挑戦		
実証校	・大阪府堺市立白鷺小学校 ・大阪府堺市立安井小学校	連携団体	堺市教育委員会
		講座受講者	小学校4～6年生/66名
モデル概要	<p>①夢見る株式会社と堺市教育委員会が協力し、事業を進める ②夢見る株式会社より、大阪府立大学IT技術教育サークル「Foobar」へメンター育成を行う。 ③育成したメンターが小学校へ訪問し、全3回の授業(90分/回)を実施し、最終回はロボコンを実施して成果を測る。</p>		
メンター属性	大学生	育成メンター数	9名
実施の様子	<p>【講座実施日】 白鷺小学校：8/8,9,10 安井小学校：8/17,18,21</p>		

平成28年度第2次補正事業 実証モデル概要 ▶ 株式会社学研エデュケーショナル

タイトル	「CSR活動通した持続可能な教育モデルづくり」 ー自動ドアの制御ー		
実証校	・神戸市立高羽小学校 ・神戸市立井吹西小学校 ※実証会場：ナプテスコ甲南工場（2校とも）	連携団体	ナプテスコ株式会社
		講座受講者	小学校5年生/40名
モデル概要	<p>企業CSR活動の一環として社員メンターを育成し、地域の学校等におけるプログラミング教育の推進に寄与する。 ①企業（ナプテスコ株式会社）のCSRの取り組みとしてメンター候補者（社員）を企業内公募により募集する。 ②学研「ものづくり研究室」のロボットプログラミング講師養成ノウハウに基づき①の社員をメンターとして育成する。 ③企業立地地域の小学校で「ものづくり研究室」で使用している教材を用いたプログラミング講座を開催する。</p>		
メンター属性	地域企業	育成メンター数	7名
実施の様子	<p>【講座実施日】 高羽小学校：8/2 井吹西小学校：8/4</p> <p>1時間目 工場・ショールーム見学 2～3時間目 プログラミング講座 初級編 センサーで開く自動ドア 4～5時間目 プログラミング講座 応用編 安心・便利かつ楽しい自動ドア（ロボット）発表</p> <p>ショールーム見学</p> <p>プログラミング講座の様子</p>		

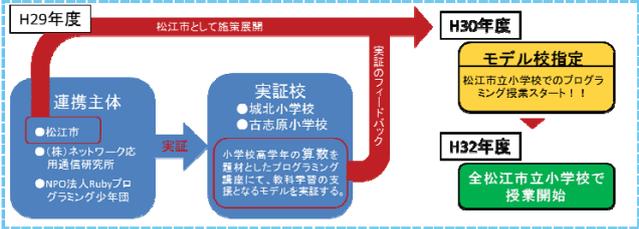
平成28年度第2次補正事業 実証モデル概要 ▶ 株式会社テックプログレス

タイトル	「地域人材を活用してコストを抑えた再現性の高い事業モデル」		
実証校	・広島県広島市立鈴が峰小学校 ・京都府東山中学校 ・愛媛県新田青雲中等教育学校	連携団体	ケニス株式会社
		講座受講者	小学校3～6年生、中学校1～3年生/61名
モデル概要	<p>各地域でのプログラミング・ロボット教育の普及を考えた際、考えられる障壁が2点ある。1点は制約やリソースに限りのある学校状況にあわせた提供コンテンツ、もう1点は指導にあたるメンターの確保および育成である。</p> <p>今回の実証事業では、この2点の課題解決を意識して「再現性・実現性の高いモデル」の計画立案・仮説検証を行っていく。</p> <p>また子どもたちに広くプログラミング・ロボット教育を普及する意図を含め、実証に使う教材として「Scratch」及び、STEM教育用ロボット「mBot」を用いた複合型の教育コンテンツを開発、提供する。</p>		
メンター属性	保護者、地域住民、地域企業、大学生	育成メンター数	10名
実施の様子	<p>【講座実施日】</p> <p>鈴が峰小学校：7/24～26 東山中学校：8/28～30 新田青雲中等教育学校：8/1～4</p>		
			



平成28年度第2次補正事業 実証モデル概要 ▶ 松江市

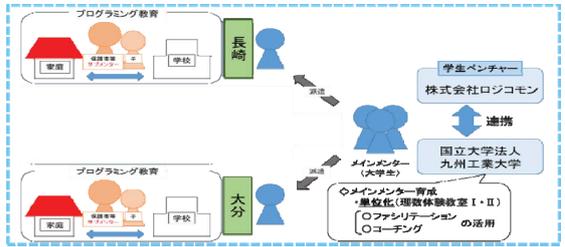
タイトル	地域資源であるプログラミング言語「Ruby」を活用した教科学習（算数）支援モデル		
実証校	・島根県松江市立城北小学校 ・島根県松江市立古志原小学校	連携団体	株式会社ネットワーク応用通信研究所、 NPO法人Rubyプログラミング少年団
		講座受講者	小学校5～6年生/119名
モデル概要	<p>小学校5・6年生を対象とした算数を題材とするプログラミング体験講座を設計し、教科学習の支援となる実証を行う。</p> <p>メンター育成には市立小学校の教員の知見を取り入れ、平成30年度に小学校の算数の授業の中にプログラミング教育を取り入れる素地作りを目指す。</p>		
メンター属性	地域住民、地域企業、教職員	育成メンター数	19名
	<p>【講座実施日】</p> <p>城北小学校：7/24,27 古志原小学校：7/25,26</p>		
実施の様子			



平成28年度第2次補正事業 実証モデル概要 ▶ 日本マイクロソフト株式会社

タイトル	教育版マイクラフトを活用したプログラミング的思考学習の推進			
実証校	高知県土佐市立宇佐小学校、新居小学校、土佐南中学校、徳島県東みよし町立三庄小学校、足代小学校、加茂小学校、昼間小学校、三加茂中学校、三好中学校	連携団体	高知県土佐市教育委員会 徳島県東みよし町教育委員会	
		講座受講者	小学校全学年、中学校全学年/105名	
モデル概要	<p>世界で1億人以上が利用する仮想世界ソフトウェア「教育版マイクラフト」でプログラミング的思考の学習を行う世界で初めての実践。仮想世界を活用した実社会の問題解決能力の育成を目的とする。平成30年以降は、本事業の成果を元に実証地域での事業継続の他、マイクロソフトによる無償教員研修として日本全国への提供を目指す。</p> 			
メンター属性	教員、学校支援員、地域住民、中学生	育成メンター数	39名	
実施の様子	【講座実施日】 土佐市：10/27 東みよし町：9/2			
	<p>① 事前事後の理解度チェック</p> 	<p>② グループで自己紹介</p> 	<p>③ プログラミング基礎学習パートでの児童発表の様子</p> 	<p>④ 小学校4年生算数「位置の表し方」の発展的学習</p> 

平成28年度第2次補正事業 実証モデル概要 ▶ 株式会社ロジコモン

タイトル	学生ベンチャー企業が大学と連携して九州広域で実施する、ブロックロボットプログラミング教室 - 保護者等をサブメンターとして配置する試み -		
実証校	・長崎県島原市立第五小学校 ・大分県大分市立明野北小学校	連携団体	九州工業大学
		講座受講者	小学校4～6年生/224名
モデル概要	<p>学生ベンチャー企業と九州工業大学が連携し、長崎・大分で実施することで、広範囲にプログラミング教育について興味・関心をもってもらう。大学生をメインメンターとして起用し、さらに保護者等をサブメンターとして育成することで家庭でもプログラミング教育をサポートできるシステムを構築する。</p> 		
メンター属性	大学生・教職員・地域住民・ICT支援員	育成メンター数	25名
実施の様子	【講座実施日】 島原市立第五小：09/28,29,10/5,19 明野北小：10/16,30		
	 		

平成28年度第2次補正事業 実証モデル概要 ▶ NPO法人 日本ソーシャルスクール協会

タイトル	地域ボランティア（シニア、主婦等）が指導する地域サークル活動と自宅での自己学習の併用による発展的プログラミング教育		
実証校	・佐賀県武雄市中央公民館 ・福岡県柳川市立柳河小学校	連携団体	武雄市生涯学習課・柳川市教育委員会
		講座受講者	小学校3～6年生/38名
モデル概要	<p>①民間事業、義務教育＝高度指導組織 ⇔ 本取組＝導入プラットフォーム ②各地域住民が指導者としてICT領域の地域サークル活動を自立運営 ③地域人材主体の地域社会貢献に基づく比較的安価な運営</p> <p>経験者でないと教育できないという概念を払拭するモデルケースの実現を目指す</p> 		
メンター属性	保護者、地域住民、高校生他	育成メンター数	25名
実施の様子	【講座実施日】 武雄市中央公民館：9/23,10/07,21,11/11,25 柳河小：8/5,19,26,9/2,9		
			

平成28年度第2次補正事業 実証モデル概要 ▶ 株式会社CA Tech Kids

タイトル	全ての地域で実施可能な、現実的且つ効果的なプログラミング教育の実証～Scratchと「26の評価項目」を用いた、楽しみながら実力のつく講座の提案～		
実証校	・鹿児島県 徳之島町立の全小学校 ・岩手県遠野市立土淵小学校 ※実証会場はコワーキングスペースみらい創りラボのかわ（徳之島町）、遠野みらい創りカレッジ（遠野市）	連携団体	徳之島町、一般社団法人遠野みらい創りカレッジ
		講座受講者	小学校3～6年生/34名
モデル概要	<p>延べ3万人を超える小学生にプログラミング教育を実践してきた株式会社CA Tech Kidsのノウハウをフル活用し、離島や過疎地など全ての地域で実施可能な、「現実的/効率的」且つ「効果的」なプログラミング教育の実践を行う。</p>  <ul style="list-style-type: none"> いつでもどこでも 無料で 継続的に 大学との共同研究に基いたカリキュラム 26の評価項目 楽しいだけでなく実力が付く 全国どこでも実施可能 徳之島町→遠野市での実践 オンラインメディアで発信 		
メンター属性	保護者、地域住民、地域企業他	育成メンター数	12名
実施の様子	【講座実施日】 徳之島：7/22,23,29,30, 11/12 遠野市：10/06,07,14,15,27,28		
			

平成28年度第2次補正事業 実証モデル概要 ▶ 株式会社リチャージ

<p>タイトル</p>	<p>大学の無い地域における「工業高校生メンターの育成」を通じた持続可能なプログラミング教育のエコシステムづくり</p>		
<p>実証校</p>	<p>・沖縄県宮古島市立下地小学校 ・沖縄県宮古島市立久松小学校 ・沖縄県宮古島市立下地中学校 ※実証会場は下地中学校（3校合同）</p>	<p>連携団体</p>	<p>宮古島市教育委員会、ライフイズテック株式会社 NTTラーニングシステムズ株式会社</p>
<p>モデル概要</p>	<p>プログラミング教育を通じて、離島でのメンター育成を継続的に育成できる仕組みの構築とサテライトオフィス企業職員の活用方法やICT活用による離島・へき地教育の格差解消の方法、児童生徒へは、21世紀型グローバルスキルの向上を目指す。</p> <div data-bbox="742 414 1412 683" style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"> <p>■メンター育成研修及び小中学生1日体験会</p>  <p>↑メンター育成研修実施イメージ</p> <p>↓1日体験会実施イメージ</p> <p>■プログラミング開発例</p> <p>iPhoneアプリ開発例</p> </div>		
<p>メンター属性</p>	<p>高校生</p>	<p>育成メンター数</p>	<p>9名</p>
<p>実施の様子</p>	<p>【講座実施日】 11/5</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>		